



は、ほじょ^{けん}犬の^{どうはん}同伴を

^{かんげい}歓迎しています。



^{けん}ほじょ犬

平成^{へいせい}15年^{ねん}10月^{がつ}から、デパート、スーパー、ホテル、レストランなど
一般的な^{いっぱんでき}施設^{しせつ}にほじょ^{ほじょ}(補助^{けん})犬^{どうはん}の同伴^{どうはん}ができるよう
になりました。みなさまのご理解^{りかい}、ご協力^{きょうりょく}よろしく^{ねが}願^{ねが}いします。



^{もうどうけん}盲導犬

目^めの^{ふじゆう}不自由^{ひと}な人^{ひと}を
誘導^{ゆうどう}します。



^{かいじょけん}介助犬

からだ^{ふじゆう}の不自由^{ひと}な人^{ひと}の
手足^{てあし}となつて働^{はたら}きます。



^{ちようどうけん}聴導犬

耳^{みみ}の^{ふじゆう}不自由^{ひと}な人^{ひと}に
音^{おと}を知ら^しせませす。

ほじょ^{けん}犬は^{けん}ペット^{けん}では^{けん}ありませ^{けん}ん。^{こうせいろうどうしょう}厚生労働省^{しんたいしやうがいしゃほじょけんほう}の「身体障害者補助犬法」に^{もと}基づ^{にんてい}いて^{けん}認^{けん}定^{けん}され^{けん}た、^{くんれん}とくべつ^うな^{いぬ}訓^{ふじゆう}練^{ひと}を受^{けん}けた^{けん}犬^{けん}たち^{けん}です。^{けん}いわ^{けん}ば、^{けん}からだ^{けん}の不^{けん}自由^{けん}な^{けん}人^{けん}の、^{けん}からだ^{けん}の^{けん}一^{けん}部^{けん}。^{けん}社会^{けん}の^{けん}マナー^{けん}も^{けん}きちん^{けん}と^{けん}訓^{けん}練^{けん}され^{けん}て^{けん}いま^{けん}すし、^{けん}手^{けん}入^{けん}れ^{けん}にも^{けん}十^{けん}分^{けん}注^{けん}意^{けん}して^{けん}いま^{けん}すので^{けん}衛^{けん}生^{けん}面^{けん}でも^{けん}安^{けん}心^{けん}です。